

私と野外活動

中田 ひとし 非斗志さん



▲子どもたちと一緒にカヌーを楽しむ
中田さん



“仕事として始めたものがたまたま自分の得意分野だっただけ”

長年子どもたちとともにカヌーやキャンプなどの野外活動をしてきた中田ひとしさん。活動のきっかけは昭和59年、旧西海町教育委員会で派遣社会教育主事として勤務していた時。少年教育のため、企画実施の必要性に迫られたことがきっかけで始めたものです。転機が訪れたのは昭和63年、県教育委員会が始めた『10泊11日少年冒険生活体験事業』を経験して、「自然の中で自分自身の体を使って何かをする。子どもに教えるのではなく、子どもが自ら体験する場、そういう状況を大人たちが作ってやれば、それが子どもたちを一番成長させるのでは？」と考えが変わったと話します。そうして始めた、夏休みを利用した『96時間サバイバルキャンプ』、これは少しずつ内容を変えながら、現在も続いています。

サバイバルキャンプでは、子どもたち自身が火をおこし、食事をつくり、テントの準備をするなどさまざまなことを体験します。「火傷なんて茶飯事。でも下手に制限をかけるより、子どもたちに自由にさせた方が自ら考えて動く。普段の学校生活とは違った様子を見ることもできる。失敗したっていい。そこから学ぶことがたくさんある」と中田さんは話します。

キャンプをはじめとした野外活動は人づてに広がり、町外からも参加者が集まります。虫が苦手だった子が触れるようになったり、「二度と参加しない!」と言っていた子が何度もリピーターとして来たり、子どもたち同士で教え合うなど、幅広い世代で交流が生まれます。「自分が楽しいからやっている。仕方なしでやっていたら続かない。まず自分が楽しまないと。気力体力、体が動く限り続けたい」と少年のように目を輝かせながら話します。

退職後、スクールガードリーダーとして、街頭での見守りや防犯教室へ参加をしてきた中田さん。令和7年度愛媛県非行防止対策協議会総会で、少年非行防止功労表彰を受けました。表彰について聞くと、「別にどうということもない。自分としては普通のことをやってきて、それが評価されただけ。引き続きがんばってという意味でくれたのかな」とひょうひょうと話しました。

編集後記

愛南地区防犯協会から、中田ひとしさんの受賞の一報を受けて取材しました。長年、いろんなことをされている中田さん。30分程度のつもりが1時間半ほど話し込みました。「私と〇〇」での掲載をお願いすると快諾。せっかくお話しいただいた興味をそそるエピソード、本当はもっと深堀りしたい。でもどうしても文章が納まりきらない。文才の無さを恨みつつ、なんとか押し込みました。ぜひ皆さん右上の二次元コードから動画をご覧くださいませ〜H

高校生議員が自分たちの言葉で思いを語ったあいなん未来議会。入念に準備してきた10人の高校生議員から投げかけられる質問や提案からは、熱い思いがひしひしと伝わってきました。初めて議会で臨む高校生が落ち着いた表情を見せる横で、撮影のため議場に入るだけの私がなぜか緊張。そんな情けない自分とはえらい違いで、若い世代を代表して立派に議員を務めた見せた彼らの勇姿は眩しく、一番近くで目に焼きつけておきました。 M

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

愛南町の世帯数と人口
令和7年9月1日現在

世帯数	9,730世帯(−10世帯)
人口	18,200人(−25人)
男	8,638人(−6人)
女	9,562人(−19人)
愛南町の高齢化率	47.8%
※()内は前月比	
●10年前 同月の人口	23,229人